



SWIM の成り立ちと現在までの活動

The History and Current Activities of SWIM

片岡信弘

1. 成り立ちと目指すもの

ソフトウェアインタプライズモデリング (SWIM: Software Interprise Modeling) 研専は、2001 年から「IT と経営の相乗的改革モデルの研究」を基本テーマとして活動を行っている。インターネットを最大限に活用し事業活動を営む企業や組織を Internet based enterprise (Interprise) と呼び、本研専では Interprise の価値革新を IT で行うことを目標としている。

2. 現在までの活動

現在の主要な研究テーマの一つ目は、ビジネスモデル (BM) を基点とした経営情報システム (EIS) の実現である。

BM を基点とすることにより、経営課題に密着した、EIS の実現を目指す。これを図 1 に示す⁽¹⁾。BM から EIS のシームレスな実現のため BM, BA (ビジネスアーキテクチャ) の各モデルの記述方式やモデル間の変換方式などの検討に取り組んでいる。BA の記述方式については、オープングループ提唱の ArchiMate をベースとした方式を提案している⁽²⁾。また、モデル自身やモデル間の検証については、モデル検査ツール SPIN (Simple Promela INterpreter) やカラーベトリネットを

利用した研究⁽³⁾を進めてきた。

二つ目は、SaaS (Software as a Service) やオープン環境など EIS 実動の基盤の変化に伴うビジネスモデル変化の研究である⁽⁴⁾。

三つ目は、革新的 EIS の実動方式の研究である。API によるサービス連携の重要性については早い時期から提唱をしてきた⁽⁵⁾。近年定着してきたクラウドコンピューティングについては、2010 年時点で SWIM のプロジェクトを立ち上げその可能性を検証してきた⁽⁶⁾。

今後の課題としては、ビッグデータや CGM (Consumer Generated Media) 等による新しい価値に対するモデルへの取組みが存在する。

文 献

- (1) 松本正雄, “インタプライズの特質に基づくモデル化 BD3—汎用視点から—,” 信学技報, SWIM 2014-25, pp. 65-70, Nov. 2014.
- (2) 片岡信弘, 堀米 明, 久保田雅彦, 五月女健治, 小松昭英, 増井久之, 須栗裕樹, 松本正雄, 木村礼社, 荒川弘熙, “プラットフォームビジネスのアーキテクチャの考察—ビジネスモデル 3.0 タスクフォース報告 02—,” 信学技報, SWIM 2016-16, pp. 33-38, Dec. 2016.
- (3) 小原正義, 新川芳行, “CPN による UML クラス図とステートマシン図間の整合性検証,” 信学技報, SWIM 2013-7, pp. 9-13, Aug. 2013.
- (4) 高橋 浩, “オープン環境の浸透による企業市場ビジネスモデルの変革—多接点プラットフォーム・モデルによる—,” 信学技報, SWIM 2005-10, pp. 13-18, Aug. 2005.
- (5) 片岡信弘, “ソフトウェア技術革新—マッシュアップ,” Web サービス時代の経営情報技術, 松本正雄(編), pp 74-98, 電子情報通信学会, 東京, 2009.
- (6) 宮西洋太郎, “クラウドコンピューティングとどう向き合うか—クラウドはビジネス系情報システム構築技法の革命となりうるか—,” 信学技報, SWIM 2010-1, pp. 1-6, June 2010.

(平成 29 年 4 月 24 日受付 平成 29 年 6 月 6 日最終受付)

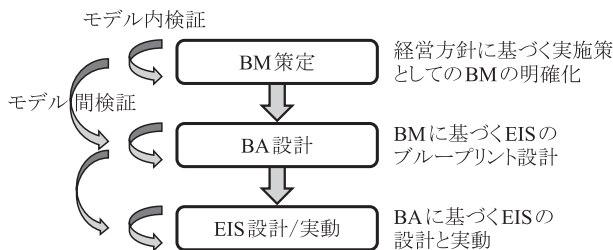
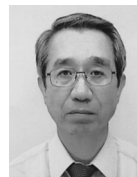


図 1 BM 基点の EIS 実現ステップ

片岡信弘 正員：フェロー 東京電機大学
E-mail kataoka9@kataoka9.com
Nobuhiro KATAOKA, Fellow (Tokyo Denki University, Tokyo, 120-8551 Japan).
電子情報通信学会誌 Vol.100 No.10 p.1052 2017 年 10 月
©電子情報通信学会 2017



片岡 信弘 (正員：フェロー)

昭 41 阪大・工・電子卒。昭 43 同大学院修士課程了。同年三菱電機株式会社入社。平 12 東海大情報メディア学科。ビジネスプロセスモデリング、システム構築方式の研究に従事。現在、東京電機大・非常勤講師。博士 (情報科学)。著書「インターネットビジネス概論」など。